

年月日 24 07 12 ページ 19 N.O.

企業と人——つなげる金融機関

横浜銀行

コンコルディア・フィナンシャルグループ（FG）は「地域に根ざし、ともに歩む存在として選ばれるソリューション・カンパニー」をビジョンに掲げ、中核の横浜銀行がグループ会社を挙げソリューション・ビジネスを深化・拡大している。中小企業の後継者難が深刻さを増す中、横浜銀行グループの横浜キャピタル（横浜市西区）は地元営業エリアでファンドを通じた事業承継・ハンズオン（伴走型）支援に邁進している。

歯科工所のZOO LABO（スマーボ、川崎市多摩区）は2023年12月、横浜銀行が横浜キャピタルと設立した「Yoko hamAnext投資事業有限責任組合」（横浜ネクストファンド）および「ヨコ・キャピタル（FCI、東京都港区）の出資を受け入れた。横浜ネクストファンドとFCIはズーラ



デジタル歯科技術の作製現場で技術士と話す
通地慶樹ZOO LABO社長

ボトム業務を務めてきた通地慶樹氏を翌24年1月、新社長に選任して横浜ネクストファンドとFCIから派遣した役員とともに経営にあたっている。ズーラボは50年の歴史があり、首都圏を中心とした歯科医院に高品質の歯科技工物を供給する。いち早くCAD/CAMシステムによるデジタル歯科技術にも取り組み、生産性を高め順調に事業を拡大。横浜キャピタルの田邊優治社長は

「さらなる成長を見込める状況下で事業承継が経営課題として浮上し、共同投資家（FCI）とともに支援に乗り出した」と振り返っている。

ズーラボは日本の人口はピークアウトしたが、高齢化の進展で歯科技工物の需要は上向き。だが、他産業と同様に業界では人手不足が顕在化され、「人としての誠実さが大切」と信頼される存在となるには

一方、ズーラボの通地社長は「人が一番大事」と話す。DXが進展する歯科技工では技術力が重視されるが、取引先の要望に応え、「人としての誠実さが大切」と展望する。

一方、ズーラボの通地社長は「人が一番大事」と話す。DXが進展する歯科技工では技術力が重視されるが、取引先の要望に応え、「人としての誠実さが大切」と展望する。

一方、ズーラボの通地社長は「人が一番大事」と話す。DXが進展する歯科技工では技術力が重視されるが、取引先の要望に応え、「人としての誠実さが大切」と展望する。

ファンドを通じ事業承継・成長支援



通地社長と経営戦略について話し合う田邊横浜キャピタル社長（右前）と派遣した役員（左2人）

地域企業の課題解決に貢献

ジタル歯科技工の保険適用範囲を拡大するなど、業界のDXを後押ししている。一方、「非常勤員を迎えて成長戦略を描いた」と展望する。また、成長戦略の実現に向け、重視するのが労働環境である。横浜キャピタルの田邊優治社長は、「さまざまな成長を見込める状況下で事業承継が経営課題として浮上し、共同投資家（FCI）とともに支援に乗り出した」と振り返っている。

一方、ズーラボの通地社長は「人が一番大事」と話す。DXが進展する歯科技工では技術力が重視されるが、取引先の要望に応え、「人としての誠実さが大切」と展望する。